

“エコの町 大磯”を目指して



大磯町長 則正 好三

あけまして

おめでどうございませう

平成二十一年の希望に満ちた幕開けを皆様とともに、迎えられますことを衷心から感謝申し上げます。

昨年は、原油価格の高騰が日常生活に直接関わる食品や生活用品の価格に影響を及ぼす中、食品の安全に関する事件が多発するなど、安心や安全について、また食育について、今まで以上に意識して過ごした一年であったと思います。

「大磯を元気に！」するために、皆様の目線に立った具体的な施策の実施が求められており、地方財政を取り巻く環境が更に厳しさを増す中であっても、限られた財源を創意工夫をもって町民の皆様に還元して行かなければならないことを痛感しています。

平成二十一年度からスタートする新しい機構では、従来の方法にとらわれない新たな発想と感覚をもって、総合的に子どもの育成を担当する「子ども育成課」、町民の健康全般に対応するための「スポーツ健康課」を設置し、とにかくコンパクトでフットワークのよい組織づくりに臨む所存です。

新年度では、特に、「環境」「観光」「教育」の三本柱（3K）を掲げ、重点的に取り組んでいきます。

環境対策は、すでに地球規模の問題となっており、われわれにも問

題解決の一翼を担うことができる、身近な問題であります。

「エコの町 大磯」を目指し、対策と啓発に取り組み、町民の皆様と一緒に進め、美しい自然や快適な生活環境を作り、残して行きたいと強く思っております。

また、いよいよ万台こゆるぎの森も学校法人国際学園の開園に向けての準備が進んでいきます。

観光については、大磯の歴史的・文化的な資源や自然を町内外に今まで以上にPRをし、多くの方に大磯を新発見・再発見していただけるきっかけ作りを積極的に推進します。農林業・漁業・商工業とも関連付け、知名度を生かした特産品の紹介にも力を入れ、夢のある観光立町を目指します。

教育の分野では、小さな子どもから高齢者まで、学ぶ意欲に応え、多くの知識や経験を身に付けることができ、それを地域や社会に還元できる人材育成を目指します。スポーツにおける健康増進や地域交流も、教育的に大切な分野として捕らえ、応援してまいります。

引続き「簡素で活力ある町政」を目指しながら、積極的に大磯の情報を発信しようという思いを更に強くし、新年を迎えております。

最後になりますが、この一年が皆様にとりまして、明るい充実した年になりますようお祈りいたします。